

---

## 「Branch Atheromatous Disease 患者に対する recombinant tissue plasminogen activator 静注療法の治療成績に影響する因子についての検討」に関するお知らせ

---

このたび、当院で診察を行った患者さんの臨床情報を用いた以下の研究を実施いたします。本研究は、埼玉医科大学国際医療センター臨床研究 IRB の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

### 研究の概要について

#### 1. 研究の対象となる方

2007年04月01日から2023年03月31日の期間に埼玉医科大学国際医療センターへ入院した rt-PA 静注療法が行われた急性期 Branch Atheromatous Disease (BAD) 患者さんを対象としております。

#### 2. 研究の目的

急性期 BAD 患者に対する rt-PA 静注療法の治療成績および転帰に影響する因子について解析することで、さらなる機能予後の改善に繋がることが期待できます。

#### 3. 研究期間

病院長の許可後～2024年05月31日

#### 4. 利用または提供の開始予定日

研究実施許可後より1ヶ月後程度

### 研究に用いる試料・情報について

#### 1. 試料・情報の内容

rt-PA 静注療法が行われた急性期 BAD 患者さんを対象に年齢、性別、既往歴、血液検査、脳卒中重症度、治療内容および臨床転帰についての情報を電子カルテを用いて収集します。この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学国際医療センターにおいて、研究責任者である新井徳子が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

#### 2. 試料・情報の取得方法

rt-PA 静注療法が行われた急性期 BAD 患者さんの検査を実施した際に生じた検査データおよび診療記録等を用います。

#### 3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

脳神経内科・脳卒中内科	医師	助教	新井徳子 (研究責任者)
脳神経内科・脳卒中内科	医師	教授	須田智
脳神経内科・脳卒中内科	医師	教授	加藤裕司
脳神経内科・脳卒中内科	医師	教授	高橋慎一
脳神経内科・脳卒中内科	医師	教授	林健
脳神経内科・脳卒中内科	医師	講師	中上徹
脳神経内科・脳卒中内科	医師	助教	木村龍太郎
脳神経内科・脳卒中内科	医師	助教	尾立樹一郎
脳神経内科・脳卒中内科	医師	助教	藤原史奈子
脳神経内科・脳卒中内科	医師	助教	渡邊開斗
脳神経内科・脳卒中内科	医師	助教	上田颯英
脳神経内科・脳卒中内科	医師	客員教授	出口一郎
脳神経内科・脳卒中内科	医師	大学院生	水野諭児

#### 4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学国際医療センター 病院長 佐伯 俊昭

#### お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学国際医療センター 脳神経内科・脳卒中内科 新井徳子

住 所：〒350-1298 埼玉県日高市山根 1397-1

電話番号：042-984-4220 (土日祝日を除く 8:30~17:30)

○研究課題名：Branch Atheromatous Disease 患者に対する recombinant tissue plasminogen activator 静注療法の治療成績に影響する因子についての検討

○研究責任者：埼玉医科大学国際医療センター 脳神経内科・脳卒中内科 新井徳子